

管内医療機関の今後の役割について (非稼働病棟を有する医療機関の再稼働の協議)

令和 6 年 (2024 年) 8 月
熊本県菊池保健所

1 協議事項の概要

- 合志第一病院から非稼働病棟を再稼働したい旨の申し出があった。



『地域医療構想の進め方について』（厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）
非稼働病棟の再稼働については、地域医療構想調整会議において十分議論を行うこと。

<参考> 『地域医療構想の進め方について』（H30.2.7付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）

イ. 病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関への対応

(一部抜粋)

(イ) 留意事項

都道府県は、病床がすべて稼働していない病棟を再稼働しようとする医療機関の計画を把握した場合には、当該医療機関の医療従事者の確保に係る方針、構想区域の他の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえ、現在稼働している病棟の稼働率を上げたしてもなお追加的な病棟の再稼働の必要性があるか否かについて地域医療構想調整会議において十分に議論すること。

特に、再稼働した場合に担う予定の病床機能が、構想区域において過剰な病床機能である場合には、過剰な病床機能へ転換するケースと同様とみなし、より慎重に議論を進めること。

2 対象となる医療機関の概要

【医療機関名】合志第一病院

【所在地】熊本県合志市御代志 8 1 2 - 2

【許可病床数】132床（一般67床、療養65床）

【非稼働病床数】療養 30床

【非稼働の時期】平成29年（2017年）1月～

【非稼働の理由】看護職員・介護職員不足（療養病床施設基準が満たせない）

【再稼働の理由】

一般病床にて地域包括ケア病床（18床）を運営しているが、連携先の介護施設の入居者や在宅療養中の方々のサブアキュートとしての入院をお待たせしている状況である。その為、地域包括ケア病床を休床している療養病床30床にて稼働させ地域の医療ニーズ、介護ニーズに対応したい。医療と介護を一体的に提供し、できるだけ自宅や自宅に代わる生活の場での療養生活を支援していく。

【再稼働する病床機能】回復期

【今後の計画】令和6年（2024年）10月（予定）

【参考】 菊池地域の病床について

＜令和4年度病床機能報告結果＞

病床機能	R4年度 病床機能報告	2025年 病床数必要量	①-②	必要量
高度急性期	0	64	▲64	不足
急性期	670	453	+217	過剰
回復期	541	578	▲37	不足
慢性期	1,124	589	+535	過剰